

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

土質柱状断面図

工事名 県立足利女子高校分校新築に伴う地質調査

調査地名

掘進方法 U-ダリ-式 Jp-ボリソク

調査年月日 昭和46年2月23日~2月24日

総掘進長 6.07

施工者

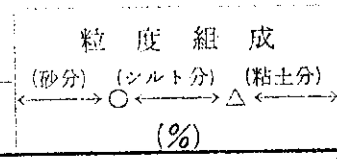
調査名番号 BNo-1

深さ 1.90m

使用機械名 ARS150型

現場主任技術者

標高 (m)	深度 (m)	断面記号	層厚 (m)	土質名	色調	相対密度 緊硬度又は	試料番号	観察	湧水箇所 及水位 (m)	標準貫入試験				
										測定深度 (m)	打撃回数 (回/尺)	粒度組成 (砂分)	シルト分 (N)	粘土分 (回)
0.00	0.00		1.00	盛土 表土	褐色		1	盛土 30cm厚		1.15	3			
	1.00						2			1.45	30			
	2.60		1.60	砂	暗褐色		3	中~粗粒		2.15	32			
							4	石礫は丸く非常に硬い。		2.47	32			
							5	透水部大70% 含砂少。	測定されず。	3.15	30			
										3.26	21			
										4.15	50			
										4.22	13			
										5.15	50			
										5.24	7			
	6.07		3.46	砂礫	暗褐色					6.00	50			
										6.07	7			



土質柱状断面図

工事名 足利女子高校分校新築に伴う地盤調査

調査地名

掘進方法 D-ドリ-式コア-ボ-リング

調査年月日 昭和46年3月20日～21日

総掘進長 6.29m 施工者

調査名番号 B No-2 深P.M+180

使用機械名 BRS150型 現場主任技術者

標高(m)	深度(m)	断面記号	層厚(m)	土質名	色調	相対密度 緊硬度又は	試料番号	観察	湧水 孔内水位及	標準貫入試験								
										測定 深度 (m)	打撃 回数 回/吹	粒 度 組 成	砂分 数	シルト分 N (箇)	粘土分 (箇)			
										0	10	20	30	40	50	60	80	100
0.00	1.50		1.50	表土	暗褐	中位	1	細~中砂	水位 測定 なし	1.15	12							
							2	礫非常に硬い。		1.45	30							
						締	3	礫φ150mm最大 50%前後多量。		2.15	50							
							4			2.38	23							
							5	砂は荒い。 流動砂礫		3.15	50							
							6			3.36	21							
	6.29		4.79	砂礫暗青緑						4.15	50							
										4.26	11							
										5.15	50							
										5.31	16							
										6.10	50							
										6.29	19							

粒度組成
 (砂分) (シルト分) (粘土分)
 (%)